

【表紙】

【提出書類】 有価証券届出書の訂正届出書

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成30年4月11日

【発行者名】 東京海上アセットマネジメント株式会社

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 後藤 俊夫

【本店の所在の場所】 東京都千代田区丸の内一丁目8番2号

【事務連絡者氏名】 尾崎 正幸

【電話番号】 03 - 3212 - 8421

【届出の対象とした募集(売出)内国投資信託受益証券に係るファンドの名称】 東京海上・世界資産バランスファンド(年1回決算型)

【届出の対象とした募集(売出)内国投資信託受益証券の金額】 当初申込日 上限 50億円
継続申込期間 上限 1兆円

【縦覧に供する場所】 該当なし

1【有価証券届出書の訂正届出書の提出理由】

平成29年6月23日付をもって提出した有価証券届出書（平成29年9月5日付および平成30年3月23日付をもって提出した有価証券届出書の訂正届出書により訂正済み。以下「原届出書」といいます。）について、半期報告書の提出に伴う新たな情報の更新、および原届出書記載事項の一部に訂正すべき事項があるため、本訂正届出書を提出するものです。

2【訂正の内容】

<訂正前>および<訂正後>に記載している下線部_____は訂正部分を示し、<更新後>に記載している内容は、原届出書が更新されます。また<追加>の記載事項は原届出書に追加されます。

第二部【ファンド情報】

第1【ファンドの状況】

5【運用状況】

<更新後>

以下は平成30年2月28日現在の運用状況です。

また、投資比率とはファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

(1)【投資状況】

資産の種類	地域	時価合計（円）	投資比率（％）
親投資信託受益証券	日本	1,193,889,516	99.83
コール・ローン等、その他の資産（負債控除後）		1,981,238	0.16
合計（純資産総額）		1,195,870,754	100.00

（ご参考：親投資信託の投資状況）

当ファンドが主要投資対象とする親投資信託の投資状況は以下の通りです。

TMA高配当・低ボラティリティ外国株マザーファンド（為替ヘッジあり）

資産の種類	地域	時価合計（円）	投資比率（％）
株式	アメリカ	1,769,290,635	19.40
	カナダ	1,808,360,826	19.83
	ドイツ	265,526,928	2.91
	オーストラリア	1,090,196,046	11.95
	イギリス	736,255,695	8.07
	スイス	388,156,751	4.25
	バミューダ	174,593,559	1.91
	香港	398,723,542	4.37
	シンガポール	563,164,578	6.17
	ニュージーランド	166,576,517	1.82
	オランダ	193,285,906	2.11
	ベルギー	220,366,608	2.41
	スウェーデン	55,276,820	0.60
	ノルウェー	156,670,035	1.71
	ルクセンブルク	143,160,840	1.56
	デンマーク	162,271,809	1.77
	ケイマン	111,288,868	1.22
小計		8,403,165,963	92.14
投資証券	カナダ	187,804,813	2.05
	シンガポール	149,829,030	1.64
	小計	337,633,843	3.70

コール・ローン等、その他の資産(負債控除後)	378,259,664	4.14
合計(純資産総額)	9,119,059,470	100.00

東京海上・外貨建て投資適格債券マザーファンド(為替ヘッジあり)

資産の種類	地域	時価合計(円)	投資比率(%)
国債証券	オーストラリア	73,978,864	4.35
	シンガポール	166,759,190	9.81
	スウェーデン	104,091,941	6.12
	コロンビア	78,836,422	4.63
	ウルグアイ	70,308,238	4.13
	アラブ首長国連邦	40,697,524	2.39
	クウェート	21,038,077	1.23
	小計	555,710,256	32.69
特殊債券	メキシコ	32,533,110	1.91
	インド	45,610,776	2.68
	ペルー	31,647,307	1.86
	小計	109,791,193	6.45
社債券	アメリカ	195,590,440	11.50
	ドイツ	30,211,706	1.77
	イタリア	14,731,962	0.86
	フランス	28,477,216	1.67
	オーストラリア	16,837,794	0.99
	イギリス	47,117,476	2.77
	スイス	40,557,673	2.38
	オランダ	144,901,579	8.52
	スペイン	33,134,639	1.94
	スウェーデン	15,355,868	0.90
	ノルウェー	15,641,749	0.92
	ルクセンブルク	60,118,042	3.53
	インドネシア	86,823,784	5.10
	メキシコ	31,141,594	1.83
	チリ	48,584,925	2.85
	インド	30,996,645	1.82
	ペルー	31,392,840	1.84
	ケイマン	35,523,901	2.08
	カザフスタン	47,563,084	2.79
	英ヴァージン諸島	41,612,317	2.44
	小計	996,315,234	58.61
コール・ローン等、その他の資産(負債控除後)	37,970,395	2.23	
合計(純資産総額)	1,699,787,078	100.00	

東京海上・世界REITマザーファンド(為替ヘッジあり)

資産の種類	地域	時価合計(円)	投資比率(%)
投資証券	アメリカ	242,802,421	69.22

	フランス	20,555,264	5.86
	オーストラリア	45,129,221	12.86
	香港	18,508,500	5.27
	シンガポール	15,507,296	4.42
	小計	342,502,702	97.65
	コール・ローン等、その他の資産(負債控除後)	8,239,885	2.34
	合計(純資産総額)	350,742,587	100.00

(2)【投資資産】

【投資有価証券の主要銘柄】

a. 主要銘柄の明細

順位	銘柄名	地域	種類	口数	帳簿価額		評価額		投資比率(%)
					単価(円)	金額(円)	単価(円)	金額(円)	
1	東京海上・外貨建て投資適格債券マザーファンド(為替ヘッジあり)	日本	親投資信託受益証券	851,354,723	1.0022	853,290,970	0.9897	842,585,769	70.45
2	TMA高配当・低ボラティリティ外国株マザーファンド(為替ヘッジあり)	日本	親投資信託受益証券	106,614,949	1.6310	173,891,556	1.6644	177,449,921	14.83
3	東京海上・世界REITマザーファンド(為替ヘッジあり)	日本	親投資信託受益証券	181,627,483	1.0064	182,803,321	0.9572	173,853,826	14.53

b. 投資有価証券の種類

種類	投資比率(%)
親投資信託受益証券	99.83
合計	99.83

【投資不動産物件】

該当事項はありません。

【その他投資資産の主要なもの】

該当事項はありません。

(ご参考：親投資信託の投資資産)

投資有価証券の主要銘柄

a. 主要銘柄の明細

TMA高配当・低ボラティリティ外国株マザーファンド(為替ヘッジあり)

順位	銘柄名	地域	業種	種類	株式数	帳簿価額		評価額		投資比率(%)
						単価(円)	金額(円)	単価(円)	金額(円)	
1	COCA-COLA AMATIL LIMITED	オーストラリア	食品・飲料・タバコ	株式	248,000	749.59	185,899,212	733.69	181,957,153	1.99
2	CME GROUP INC	アメリカ	各種金融	株式	10,000	17,236.10	172,361,061	17,897.50	178,975,053	1.96
3	NEW YORK COMMUNITY BANCORP	アメリカ	銀行	株式	118,000	1,493.51	176,234,970	1,504.25	177,501,936	1.94
4	SWISSCOM AG-REG	スイス	電気通信サービス	株式	3,000	58,252.37	174,757,128	58,732.47	176,197,434	1.93
5	BANK OF QUEENSLAND LTD	オーストラリア	銀行	株式	163,000	1,057.46	172,366,371	1,079.21	175,911,882	1.92
6	AMP LIMITED	オーストラリア	各種金融	株式	394,000	439.21	173,050,710	441.72	174,039,571	1.90

7	PFIZER INC	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	株式	44,000	3,837.40	168,845,767	3,951.21	173,853,504	1.90
8	KBC GROEP NV	ベルギー	銀行	株式	17,000	9,853.87	167,515,905	10,108.56	171,845,520	1.88
9	AUSNET SERVICES	オーストラリア	公益事業	株式	1,175,000	136.36	160,229,815	139.71	164,161,835	1.80
10	COCA-COLA COMPANY	アメリカ	食品・飲料・タバコ	株式	35,000	4,672.74	163,545,984	4,683.47	163,921,779	1.79
11	SUN LIFE FINANCIAL INC	カナダ	保険	株式	36,000	4,539.78	163,432,080	4,536.41	163,311,019	1.79
12	CK Infrastructure Holdings Ltd (CKI)	バミューダ	公益事業	株式	180,000	893.89	160,900,560	906.23	163,121,580	1.78
13	TRYG A/S	デンマーク	保険	株式	63,000	2,568.69	161,827,533	2,575.74	162,271,809	1.77
14	ZURICH INSURANCE GROUP AG	スイス	保険	株式	4,500	35,607.56	160,234,042	35,836.18	161,262,832	1.76
15	WESFARMERS LIMITED	オーストラリア	食品・生活必需品 小売り	株式	47,000	3,503.68	164,672,997	3,421.69	160,819,618	1.76
16	PEPSICO INC	アメリカ	食品・飲料・タバコ	株式	13,500	11,731.24	158,371,823	11,906.25	160,734,500	1.76
17	CAN IMPERIAL BK OF COMMERCE	カナダ	銀行	株式	16,000	9,830.30	157,284,881	10,027.86	160,445,913	1.75
18	SINGAPORE EXCHANGE LTD	シンガポール	各種金融	株式	258,000	606.25	156,413,532	620.03	159,968,385	1.75
19	POWER FINANCIAL CORP	カナダ	保険	株式	57,000	2,797.00	159,429,507	2,801.21	159,669,106	1.75
20	ROYAL DUTCH SHELL PLC-A SHS	イギリス	エネルギー	株式	46,000	3,379.24	155,445,334	3,436.71	158,088,729	1.73
21	HYDRO ONE LTD	カナダ	公益事業	株式	90,000	1,753.70	157,833,018	1,752.01	157,681,692	1.72
22	GJENSIDIGE FORSIKRING ASA	ノルウェー	保険	株式	79,000	1,961.35	154,947,203	1,983.16	156,670,035	1.71
23	JOHNSON & JOHNSON	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	株式	11,000	13,948.43	153,432,803	14,137.40	155,511,486	1.70
24	CANADIAN UTILITIES LTD-A	カナダ	公益事業	株式	53,000	2,835.68	150,291,098	2,823.91	149,667,298	1.64
25	CLP HOLDINGS LIMITED	香港	公益事業	株式	136,000	1,052.92	143,198,208	1,085.14	147,579,924	1.61
26	CANADIAN TIRE CORP -CL A	カナダ	小売	株式	10,000	14,863.57	148,635,760	14,724.86	147,248,605	1.61
27	RTL Group SA	ルクセンブルク	メディア	株式	15,000	9,255.24	138,828,600	9,544.05	143,160,840	1.56
28	AT&T INC	アメリカ	電気通信サービス	株式	36,000	3,915.78	140,968,220	3,958.73	142,514,348	1.56
29	EMERA INC	カナダ	公益事業	株式	40,000	3,463.68	138,547,360	3,493.10	139,724,340	1.53
30	SINGAPORE AIRPORT TE	シンガポール	運輸	株式	330,000	422.27	139,349,265	421.46	139,081,800	1.52

東京海上・外貨建て投資適格債券マザーファンド(為替ヘッジあり)

順位	銘柄名	地域	種類	利率	償還期限	額面	帳簿価額		評価額		投資比率(%)
							単価(円)	金額(円)	単価(円)	金額(円)	
1	COLOM 3 7/8 04/25/27	コロンビア	国債証券	3.875	2027/04/25	750,000	10,747.80	80,608,564	10,511.52	78,836,422	4.63
2	URUGUA 4 3/8 10/27/27	ウルグアイ	国債証券	4.375	2027/10/27	630,000	11,485.94	72,361,474	11,160.03	70,308,238	4.13

3	SIGB 3 1/2 03/01/27	シンガポール	国債証券	3.500	2027/03/01	700,000	9,033.60	63,235,210	8,844.98	61,914,905	3.64
4	SIGB 2 1/8 06/01/26	シンガポール	国債証券	2.125	2026/06/01	700,000	8,165.55	57,158,891	8,002.06	56,014,465	3.29
5	SIGB 2 3/8 06/01/25	シンガポール	国債証券	2.375	2025/06/01	600,000	8,318.16	49,908,969	8,138.30	48,829,820	2.87
6	EXIMBK 3 3/8 08/05/26	インド	特殊債券	3.375	2026/08/05	450,000	10,550.31	47,476,437	10,135.72	45,610,776	2.68
7	SINOPE 3 5/8 04/12/27	英ヴァージン諸島	社債券	3.625	2027/04/12	400,000	10,995.11	43,980,469	10,403.07	41,612,317	2.44
8	MUBAUH 3 04/19/24	オランダ	社債券	3.000	2024/04/19	400,000	10,586.68	42,346,728	10,255.98	41,023,929	2.41
9	ADGB 4 1/8 10/11/47	アラブ首長国連邦	国債証券	4.125	2047/10/11	400,000	10,733.34	42,933,397	10,174.38	40,697,524	2.39
10	YANTZE 3.15 06/02/26	ケイマン	社債券	3.150	2026/06/02	350,000	10,453.00	36,585,522	10,149.68	35,523,901	2.08
11	PERTIJ 6 05/03/42	インドネシア	社債券	6.000	2042/05/03	290,000	11,621.72	33,703,013	11,569.11	33,550,440	1.97
12	BNCE 4 3/8 10/14/25	メキシコ	特殊債券	4.375	2025/10/14	300,000	11,176.14	33,528,429	10,844.37	32,533,110	1.91
13	ACGB 4 1/4 04/21/26	オーストラリア	国債証券	4.250	2026/04/21	340,000	9,412.58	32,002,794	9,319.72	31,687,061	1.86
14	MIVIVI 3 1/2 01/31/23	ペルー	特殊債券	3.500	2023/01/31	300,000	10,884.63	32,653,901	10,549.10	31,647,307	1.86
15	PETRPE 4 3/4 06/19/32	ペルー	社債券	4.750	2032/06/19	300,000	10,672.57	32,017,734	10,464.28	31,392,840	1.84
16	PLNIJ 4 1/8 05/15/27	インドネシア	社債券	4.125	2027/05/15	300,000	10,602.78	31,808,362	10,391.26	31,173,805	1.83
17	PEMEX 4 1/2 01/23/26	メキシコ	社債券	4.500	2026/01/23	300,000	10,620.64	31,861,940	10,380.53	31,141,594	1.83
18	INRCIN 3.835 12/13/27	インド	社債券	3.835	2027/12/13	300,000	10,831.59	32,494,778	10,332.21	30,996,645	1.82
19	ACGB 2 3/4 11/21/27	オーストラリア	国債証券	2.750	2027/11/21	350,000	8,421.50	29,475,258	8,350.94	29,228,294	1.71
20	BMETR 4 3/4 02/04/24	チリ	社債券	4.750	2024/02/04	250,000	11,714.06	29,285,167	11,166.48	27,916,200	1.64
21	SGB 0 3/4 05/12/28 #1060	スウェーデン	国債証券	0.750	2028/05/12	2,100,000	1,292.13	27,134,936	1,294.33	27,181,084	1.59
22	SGB 2 1/4 06/01/32 #1056	スウェーデン	国債証券	2.250	2032/06/01	1,800,000	1,469.07	26,443,398	1,485.38	26,736,955	1.57
23	UBS 1 1/4 09/01/26	スイス	社債券	1.250	2026/09/01	200,000	13,006.04	26,012,081	13,015.09	26,030,198	1.53
24	KZOKZ 4 3/4 04/19/27	カザフスタン	社債券	4.750	2027/04/19	240,000	10,548.02	25,315,269	10,826.11	25,982,681	1.52
25	SGB 3 1/2 03/30/39	スウェーデン	国債証券	3.500	2039/03/30	1,400,000	1,751.97	24,527,627	1,770.07	24,781,059	1.45
26	PLBIII 4 7/8 10/01/24	インドネシア	社債券	4.875	2024/10/01	200,000	11,589.51	23,179,035	11,049.76	22,099,539	1.30

27	KZTGKZ 4 3/8 09/26/27	カザフスタン	社債券	4.375	2027/09/26	210,000	10,699.42	22,468,783	10,276.38	21,580,403	1.26
28	KUWIB 3 1/2 03/20/27	クウェート	国債証券	3.500	2027/03/20	200,000	10,958.39	21,916,793	10,519.03	21,038,077	1.23
29	CDEL 3 5/8 08/01/27	チリ	社債券	3.625	2027/08/01	200,000	10,920.60	21,841,205	10,334.36	20,668,725	1.21
30	TELEFO 5.289 12/09/22	スペイン	社債券	5.289	2022/12/09	100,000	17,430.50	17,430,508	17,130.57	17,130,570	1.00

東京海上・世界REITマザーファンド(為替ヘッジあり)

順位	銘柄名	地域	種類	口数	帳簿価額		評価額		投資比率(%)
					単価(円)	金額(円)	単価(円)	金額(円)	
1	SIMON PROPERTY GROUP INC	アメリカ	投資証券	1,903	16,757.30	31,889,142	16,527.46	31,451,764	8.96
2	PUBLIC STORAGE	アメリカ	投資証券	1,415	21,934.14	31,036,817	20,713.81	29,310,055	8.35
3	PROLOGIS INC	アメリカ	投資証券	4,369	6,377.05	27,861,375	6,480.85	28,314,847	8.07
4	UNIBAIL-RODAMCO SE	フランス	投資証券	823	27,700.91	22,797,852	24,976.01	20,555,264	5.86
5	AVALONBAY COMMUNITIES INC	アメリカ	投資証券	1,223	19,709.20	24,104,360	16,758.30	20,495,412	5.84
6	EQUITY RESIDENTIAL	アメリカ	投資証券	3,354	7,003.74	23,490,561	5,994.46	20,105,442	5.73
7	BOSTON PROPERTIES INC	アメリカ	投資証券	1,493	12,864.98	19,207,430	12,831.78	19,157,860	5.46
8	SCENTRE GROUP	オーストラリア	投資証券	57,701	332.77	19,201,526	326.27	18,826,336	5.36
9	LINK REIT	香港	投資証券	20,000	915.11	18,302,200	925.42	18,508,500	5.27
10	AMERICAN TOWER CORP	アメリカ	投資証券	1,186	14,653.21	17,378,712	15,106.95	17,916,853	5.10
11	FEDERAL REALTY INVS TRUST	アメリカ	投資証券	1,328	13,374.09	17,760,792	12,184.34	16,180,813	4.61
12	GPT GROUP	オーストラリア	投資証券	38,894	431.19	16,770,819	404.07	15,716,201	4.48
13	UDR INC	アメリカ	投資証券	4,326	4,103.80	17,753,070	3,605.48	15,597,326	4.44
14	CAMDEN PROPERTY TRUST	アメリカ	投資証券	1,823	9,294.80	16,944,430	8,552.02	15,590,333	4.44
15	ASCENDAS REAL ESTATE INVESTMENT TRUST	シンガポール	投資証券	72,200	209.54	15,128,801	214.78	15,507,296	4.42
16	REALTY INCOME CORP	アメリカ	投資証券	2,796	6,112.00	17,089,157	5,300.85	14,821,195	4.22
17	VICINITY CENTRES	オーストラリア	投資証券	50,416	229.81	11,586,309	209.98	10,586,684	3.01
18	CROWN CASTLE INTL CORP	アメリカ	投資証券	583	10,951.58	6,384,773	11,849.35	6,908,172	1.96
19	EQUINIX INC	アメリカ	投資証券	141	47,488.33	6,695,855	42,004.21	5,922,594	1.68
20	WEYERHAEUSER CO	アメリカ	投資証券	272	3,740.25	1,017,350	3,785.86	1,029,755	0.29

b. 投資有価証券の種類

TMA高配当・低ボラティリティ外国株マザーファンド(為替ヘッジあり)

種類	国内/国外	業種	投資比率(%)
株式	国外	エネルギー	2.68
		素材	1.96
		資本財	1.07
		運輸	4.53
		耐久消費財・アパレル	0.89
		消費者サービス	1.25
		メディア	1.84
		小売	2.26
		食品・生活必需品小売り	3.70

	食品・飲料・タバコ	7.72
	家庭用品・パーソナル用品	0.66
	ヘルスケア機器・サービス	2.52
	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	4.07
	銀行	11.52
	各種金融	7.32
	保険	14.04
	不動産	0.87
	電気通信サービス	8.72
	公益事業	14.44
投資証券	-	3.70
合 計		95.85

東京海上・外貨建て投資適格債券マザーファンド(為替ヘッジあり)

種類	投資比率(%)
国債証券	32.69
特殊債券	6.45
社債券	58.61
合 計	97.76

東京海上・世界REITマザーファンド(為替ヘッジあり)

種類	投資比率(%)
投資証券	97.65
合 計	97.65

投資不動産物件

TMA高配当・低ボラティリティ外国株マザーファンド(為替ヘッジあり)

該当事項はありません。

東京海上・外貨建て投資適格債券マザーファンド(為替ヘッジあり)

該当事項はありません。

東京海上・世界REITマザーファンド(為替ヘッジあり)

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

TMA高配当・低ボラティリティ外国株マザーファンド(為替ヘッジあり)

該当事項はありません。

東京海上・外貨建て投資適格債券マザーファンド(為替ヘッジあり)

該当事項はありません。

東京海上・世界REITマザーファンド(為替ヘッジあり)

該当事項はありません。

(3)【運用実績】

【純資産の推移】

期	年月日	純資産総額 (百万円) (分配落)	純資産総額 (百万円) (分配付)	1口当たり 純資産額(円) (分配落)	1口当たり 純資産額(円) (分配付)
	平成29年 7月末日	1,006	-	1.0068	-
	8月末日	1,010	-	1.0109	-
	9月末日	1,007	-	1.0071	-
	10月末日	1,010	-	1.0099	-
	11月末日	1,039	-	1.0183	-
	12月末日	1,183	-	1.0184	-
	平成30年 1月末日	1,209	-	1.0036	-
	2月末日	1,195	-	0.9848	-

【分配の推移】

該当事項はありません。

【収益率の推移】

期	計算期間	収益率(%) (分配付)
第1中間計算期間	平成29年 7月12日～平成30年 1月11日	1.1

(4) 【設定及び解約の実績】

期	計算期間	設定口数 (口)	解約口数 (口)	発行済み口数 (口)
第1中間計算期間	平成29年 7月12日～平成30年 1月11日	1,198,899,738		1,198,899,738

(略)

第3【ファンドの経理状況】

<更新後>

- 当ファンドの中間財務諸表は、「中間財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和52年大蔵省令第38号)並びに同規則第38条の3及び第57条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」(平成12年総理府令第133号)に基づいて作成しております。
なお、中間財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。
- 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づいて、当中間計算期間(平成29年7月12日から平成30年1月11日まで)の中間財務諸表について、PwCあらた有限責任監査法人により中間監査を受けております。

中間財務諸表

東京海上・世界資産バランスファンド(年1回決算型)

(1) 【中間貸借対照表】

		当中間計算期間末 平成30年 1月11日現在
区 分	注記 番号	金額(円)
資産の部		
流動資産		
コール・ローン		10
親投資信託受益証券		1,211,544,826

未収入金		5,173,064
流動資産合計		1,216,717,900
資産合計		1,216,717,900
負債の部		
流動負債		
未払受託者報酬		113,702
未払委託者報酬		5,002,609
その他未払費用		56,755
流動負債合計		5,173,066
負債合計		5,173,066
純資産の部		
元本等		
元本	1	1,198,899,738
剰余金		
中間剰余金又は中間欠損金()		12,645,096
(分配準備積立金)		
元本等合計		1,211,544,834
純資産合計		1,211,544,834
負債純資産合計		1,216,717,900

(2) 【中間損益及び剰余金計算書】

		当中間計算期間 自 平成29年 7月12日 至 平成30年 1月11日
区 分	注記 番号	金額(円)
営業収益		
受取利息		9
有価証券売買等損益		14,076,470
営業収益合計		14,076,479
営業費用		
支払利息		251
受託者報酬		113,702
委託者報酬	1	5,002,609
その他費用		56,755
営業費用合計		5,173,317
営業利益又は営業損失()		8,903,162
経常利益又は経常損失()		8,903,162
中間純利益又は中間純損失()		8,903,162
一部解約に伴う中間純利益金額の分配額又は一部解約に伴う中間純損失金額の分配額()		
期首剰余金又は期首欠損金()		
剰余金増加額又は欠損金減少額		3,741,934
中間一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額		

中間追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額		3,741,934
剰余金減少額又は欠損金増加額		
中間一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額		
中間追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額		
中間剰余金又は中間欠損金（ ）		12,645,096

(3) 【中間注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

区 分	当中間計算期間 自 平成29年 7月12日 至 平成30年 1月11日
有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券 移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、親投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。

(中間貸借対照表に関する注記)

区 分	当中間計算期間末 平成30年 1月11日現在
1. 1 期首元本額	1,000,000,000円
期中追加設定元本額	198,899,738円
期中一部解約元本額	円
2. 1 中間計算期間末日における受益権の総数	1,198,899,738口

(中間損益及び剰余金計算書に関する注記)

当中間計算期間 自 平成29年 7月12日 至 平成30年 1月11日	
1 投資信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託する場合における当該委託に要する費用	
当ファンドが投資する東京海上・外貨建て投資適格債券マザーファンド（為替ヘッジあり）の純資産総額に対して以下の率を乗じて得た金額	
純資産総額が50億円以下の部分	年10,000分の30
純資産総額が50億円超の部分	年10,000分の15

(金融商品に関する注記)

金融商品の時価等に関する事項

区 分	当中間計算期間末 平成30年 1月11日現在
1. 中間貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額	時価で計上しているため、その差額はありません。
2. 時価の算定方法並びに有価証券及びデリバティブ取引に関する事項	(1)有価証券 （重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 (2)デリバティブ取引 該当事項はありません。

	(3)有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品 有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品については、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似しているため、当該帳簿価額を時価としております。
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

(1口当たり情報に関する注記)

当中間計算期間末 平成30年 1月11日現在	
1口当たり純資産額	1.0105円
(1万口当たり純資産額)	10,105円)

(ご参考)

当ファンドは、「TMA高配当・低ボラティリティ外国株マザーファンド(為替ヘッジあり)」、「東京海上・外貨建て投資適格債券マザーファンド(為替ヘッジあり)」、「東京海上・世界REITマザーファンド(為替ヘッジあり)」を主要な投資対象としており、中間貸借対照表の資産の部に計上された「親投資信託受益証券」はすべて同ファンドの受益証券です。なお、同ファンドの状況は次のとおりです。なお、以下に記載した情報は監査の対象ではありません。

「TMA高配当・低ボラティリティ外国株マザーファンド(為替ヘッジあり)」の状況

(1) 貸借対照表

		平成30年 1月11日現在
区 分	注記 番号	金額(円)
資産の部		
流動資産		
預金		46,435,740
コール・ローン		491,139,840
株式		18,711,386,486
投資証券		950,946,752
派生商品評価勘定		90,921,361
未収配当金		31,879,302
流動資産合計		20,322,709,481
資産合計		
20,322,709,481		
負債の部		
流動負債		
派生商品評価勘定		102,047,312
未払解約金		784,167
未払利息		716
流動負債合計		102,832,195
負債合計		
102,832,195		
純資産の部		

元本等		
元本	1	11,845,893,469
剰余金		
剰余金又は欠損金（ ）		8,373,983,817
元本等合計		20,219,877,286
純資産合計		20,219,877,286
負債純資産合計		20,322,709,481

(2) 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

区 分	自 平成29年 7月12日 至 平成30年 1月11日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	株式及び投資証券 移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、金融商品取引所等における最終相場（最終相場のないものについては、それに準ずる価額）、又は金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。
2. デリバティブ等の評価基準及び評価方法	為替予約取引 個別法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、原則として本書における開示対象ファンドの中間計算期間末日の対顧客先物売買相場において為替予約の受渡日の仲値が発表されている場合には当該仲値、受渡日の仲値が発表されていない場合には、発表されている受渡日に最も近い前後二つの日の仲値をもとに計算しております。
3. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	外貨建取引等の処理基準 外貨建取引については、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）第60条に基づき、取引発生時の外国通貨の額をもって記録する方法を採用しております。但し、同第61条に基づき、外国通貨の売却時において、当該外国通貨に加えて、外貨建資産等の外貨基金勘定及び外貨建各損益勘定の前日の外貨建純資産額に対する当該売却外国通貨の割合相当額を当該外国通貨の売却時の外国為替相場等で円換算し、前日の外貨基金勘定に対する円換算した外貨基金勘定の割合相当の邦貨建資産等の外国投資勘定と、円換算した外貨基金勘定を相殺した差額を為替差損益とする計理処理を採用しております。

(貸借対照表に関する注記)

区 分	平成30年 1月11日現在
1. 1 本書における開示対象ファンドの期首における当該親投資信託の元本額	9,718,465,348円
同期中における追加設定元本額	2,709,694,462円
同期中における一部解約元本額	582,266,341円
同中間期末における元本額	11,845,893,469円
元本の内訳*	
東京海上・為替ヘッジ型グローバル株式 スマート戦略ファンド（年1回決算型）	640,085円
東京海上・世界資産バランスファンド （毎月決算型）	107,688,998円

東京海上・世界資産バランスファンド (年1回決算型)	107,828,548円
TMA高配当・低ボラティリティ外国株F (為替ヘッジあり) <適格機関投資家限定>	11,142,784,900円
年金高配当・低ボラティリティ外国株F (為替ヘッジあり) <適格機関投資家限定>	486,950,938円
計	11,845,893,469円
2. 1 本書における開示対象ファンドの中間計算期間 末日における当該親投資信託の受益権の総数	11,845,893,469口

(注) *は当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

(金融商品に関する注記)

金融商品の時価等に関する事項

区 分	平成30年 1月11日現在
1. 貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額	時価で計上しているため、その差額はありません。
2. 時価の算定方法並びに有価証券及びデリバティブ取引に関する事項	(1)有価証券 (重要な会計方針に係る事項に関する注記)に記載しております。 (2)デリバティブ取引 (デリバティブ取引等に関する注記)に記載しております。 (3)有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品 有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品については、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似しているため、当該帳簿価額を時価としております。
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。また、デリバティブ取引に関する契約額等は、あくまでもデリバティブ取引における名目的な契約額又は計算上の想定元本であり、当該金額自体がデリバティブ取引のリスクの大きさを示すものではありません。

(デリバティブ取引等に関する注記)

取引の時価等に関する事項

通貨関連

(平成30年1月11日現在)

(単位:円)

区分	種 類	契約額等		時 価	評価損益
			うち1年超		

市場取引 以外の取引	為替予約取引			
	売建	19,435,910,049	19,447,036,000	11,125,951
	米ドル	4,247,768,450	4,188,264,000	59,504,450
	加ドル	4,073,056,300	4,115,144,000	42,087,700
	ユーロ	1,703,789,680	1,705,600,000	1,810,320
	英ポンド	1,449,203,400	1,445,184,000	4,019,400
	スイスフラン	1,293,021,700	1,287,861,000	5,160,700
	スウェーデンクローネ	828,641,646	837,015,000	8,373,354
	ノルウェークローネ	316,514,992	321,540,000	5,025,008
	デンマーククローネ	316,624,231	316,653,000	28,769
	豪ドル	1,567,208,350	1,605,276,000	38,067,650
	ニュージーランドドル	235,578,900	240,630,000	5,051,100
	香港ドル	1,170,906,800	1,152,016,000	18,890,800
	シンガポールドル	2,233,595,600	2,231,853,000	1,742,600
合計	19,435,910,049	19,447,036,000	11,125,951	

(注)1. 時価の算定方法

(1) 本書における開示対象ファンドの中間計算期間末日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。

同中間計算期間末日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は当該仲値で評価しております。

同中間計算期間末日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。

- ・ 同中間計算期間末日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの対顧客先物売買相場の仲値をもとに計算しております。
- ・ 同中間計算期間末日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物売買相場の仲値を用いております。

(2) 本書における開示対象ファンドの中間計算期間末日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない外貨については同中間計算期間末日の対顧客電信売買相場の仲値で評価しております。

2. 換算において円未満の端数は切り捨てております。

3. 契約額等及び時価の合計欄の金額は、各々の合計金額であります。

(1口当たり情報に関する注記)

平成30年 1月11日現在	
1口当たり純資産額	1.7069円
(1万口当たり純資産額)	17,069円)

「東京海上・外貨建て投資適格債券マザーファンド（為替ヘッジあり）」の状況

(1) 貸借対照表

		平成30年 1月11日現在
区 分	注記 番号	金額（円）
資産の部		
流動資産		
預金		25,217,413
コール・ローン		27,098,127
国債証券		580,381,167
特殊債券		117,027,782

社債券		957,718,651
派生商品評価勘定		8,676,392
未収利息		11,274,609
前払費用		3,341,733
流動資産合計		1,730,735,874
資産合計		1,730,735,874
負債の部		
流動負債		
派生商品評価勘定		3,596,743
未払金		22,265,018
未払解約金		3,627,381
未払利息		39
流動負債合計		29,489,181
負債合計		29,489,181
純資産の部		
元本等		
元本	1	1,687,025,837
剰余金		
剰余金又は欠損金（ ）		14,220,856
元本等合計		1,701,246,693
純資産合計		1,701,246,693
負債純資産合計		1,730,735,874

(2) 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

区 分	自 平成29年 7月12日 至 平成30年 1月11日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	国債証券、特殊債券及び社債券 個別法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（但し、売気配相場は使用しない）、又は価格情報会社の提供する価額で評価しております。
2. デリバティブ等の評価基準及び評価方法	為替予約取引 個別法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、原則として本書における開示対象ファンドの中間計算期間末日の対顧客先物売買相場において為替予約の受渡日の仲値が発表されている場合には当該仲値、受渡日の仲値が発表されていない場合には、発表されている受渡日に最も近い前後二つの日の仲値をもとに計算しております。

3. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	<p>外貨建取引等の処理基準</p> <p>外貨建取引については、「投資信託財産の計算に関する規則」(平成12年総理府令第133号)第60条に基づき、取引発生時の外国通貨の額をもって記録する方法を採用しております。但し、同第61条に基づき、外国通貨の売却時において、当該外国通貨に加えて、外貨建資産等の外貨基金勘定及び外貨建各損益勘定の前日の外貨建純資産額に対する当該売却外国通貨の割合相当額を当該外国通貨の売却時の外国為替相場等で円換算し、前日の外貨基金勘定に対する円換算した外貨基金勘定の割合相当の邦貨建資産等の外国投資勘定と、円換算した外貨基金勘定を相殺した差額を為替差損益とする計理処理を採用しております。</p>
----------------------------	---

(貸借対照表に関する注記)

区 分	平成30年 1月11日現在
1. 1 本書における開示対象ファンドの期首における当該親投資信託の元本額 同期中における追加設定元本額 同期中における一部解約元本額 同中間期末における元本額 元本の内訳* 東京海上・世界資産バランスファンド(毎月決算型) 東京海上・世界資産バランスファンド(年1回決算型) 計	1,400,000,000円 298,709,101円 11,683,264円 1,687,025,837円 843,002,353円 844,023,484円 1,687,025,837円
2. 1 本書における開示対象ファンドの中間計算期間末日における当該親投資信託の受益権の総数	1,687,025,837口

(注) *は当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

(金融商品に関する注記)

金融商品の時価等に関する事項

区 分	平成30年 1月11日現在
1. 貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額	時価で計上しているため、その差額はありません。
2. 時価の算定方法並びに有価証券及びデリバティブ取引に関する事項	(1)有価証券 (重要な会計方針に係る事項に関する注記)に記載しております。 (2)デリバティブ取引 (デリバティブ取引等に関する注記)に記載しております。 (3)有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品 有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品については、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似しているため、当該帳簿価額を時価としております。

3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。また、デリバティブ取引に関する契約額等は、あくまでもデリバティブ取引における名目的な契約額又は計算上の想定元本であり、当該金額自体がデリバティブ取引のリスクの大きさを示すものではありません。
----------------------------	--

(デリバティブ取引等に関する注記)

取引の時価等に関する事項

通貨関連

(平成30年1月11日現在)

(単位：円)

区分	種類	契約額等		時価	評価損益
			うち1年超		
市場取引 以外の取引	為替予約取引				
	売建	1,685,105,697		1,680,026,048	5,079,649
	米ドル	980,982,268		973,122,989	7,859,279
	ユーロ	219,214,774		219,032,316	182,458
	英ポンド	125,361,821		124,727,166	634,655
	スウェーデンクローネ	115,191,663		116,847,951	1,656,288
	豪ドル	77,898,159		79,453,258	1,555,099
	シンガポールドル	166,457,012		166,842,368	385,356
	合計	1,685,105,697		1,680,026,048	5,079,649

(注)1.時価の算定方法

(1) 本書における開示対象ファンドの中間計算期間末日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。

同中間計算期間末日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は当該仲値で評価しております。

同中間計算期間末日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。

- ・ 同中間計算期間末日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの対顧客先物売買相場の仲値をもとに計算しております。

- ・ 同中間計算期間末日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物売買相場の仲値を用いております。

(2) 本書における開示対象ファンドの中間計算期間末日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない外貨については同中間計算期間末日の対顧客電信売買相場の仲値で評価しております。

2.換算において円未満の端数は切り捨てております。

3.契約額等及び時価の合計欄の金額は、各々の合計金額であります。

(1口当たり情報に関する注記)

平成30年 1月11日現在	
1口当たり純資産額	1.0084円
(1万口当たり純資産額)	10,084円)

「東京海上・世界REITマザーファンド(為替ヘッジあり)」の状況

(1) 貸借対照表

	平成30年 1月11日現在
--	---------------

区 分	注記 番号	金額（円）
資産の部		
流動資産		
預金		10,671,735
コール・ローン		8,493,114
投資証券		340,512,288
派生商品評価勘定		2,384,334
未収入金		23,073,234
未収配当金		1,209,485
流動資産合計		386,344,190
資産合計		386,344,190
負債の部		
流動負債		
未払金		33,055,781
未払解約金		761,516
未払利息		12
流動負債合計		33,817,309
負債合計		33,817,309
純資産の部		
元本等		
元本	1	349,398,071
剰余金		
剰余金又は欠損金（ ）		3,128,810
元本等合計		352,526,881
純資産合計		352,526,881
負債純資産合計		386,344,190

(2) 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

区 分	自 平成29年 7月12日 至 平成30年 1月11日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	投資証券 移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、金融商品取引所等における最終相場（最終相場のないものについては、それに準ずる価額）、又は金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。
2. デリバティブ等の評価基準及び評価方法	為替予約取引 個別法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、原則として本書における開示対象ファンドの中間計算期間末日の対顧客先物売買相場において為替予約の受渡日の仲値が発表されている場合には当該仲値、受渡日の仲値が発表されていない場合には、発表されている受渡日に最も近い前後二つの日の仲値をもとに計算しております。

3. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	<p>外貨建取引等の処理基準</p> <p>外貨建取引については、「投資信託財産の計算に関する規則」(平成12年総理府令第133号)第60条に基づき、取引発生時の外国通貨の額をもって記録する方法を採用しております。但し、同第61条に基づき、外国通貨の売却時において、当該外国通貨に加えて、外貨建資産等の外貨基金勘定及び外貨建各損益勘定の前日の外貨建純資産額に対する当該売却外国通貨の割合相当額を当該外国通貨の売却時の外国為替相場等で円換算し、前日の外貨基金勘定に対する円換算した外貨基金勘定の割合相当の邦貨建資産等の外国投資勘定と、円換算した外貨基金勘定を相殺した差額を為替差損益とする計理処理を採用しております。</p>
----------------------------	---

(貸借対照表に関する注記)

区 分	平成30年 1月11日現在
1. 1 本書における開示対象ファンドの期首における当該親投資信託の元本額 同期中における追加設定元本額 同期中における一部解約元本額 同中間期末における元本額 元本の内訳* 東京海上・世界資産バランスファンド (毎月決算型) 東京海上・世界資産バランスファンド (年1回決算型) 計	300,000,000円 61,667,737円 12,269,666円 349,398,071円 174,592,325円 174,805,746円 349,398,071円
2. 1 本書における開示対象ファンドの中間計算期間末日における当該親投資信託の受益権の総数	349,398,071口

(注) *は当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

(金融商品に関する注記)

金融商品の時価等に関する事項

区 分	平成30年 1月11日現在
1. 貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額	時価で計上しているため、その差額はありません。
2. 時価の算定方法並びに有価証券及びデリバティブ取引に関する事項	(1)有価証券 (重要な会計方針に係る事項に関する注記)に記載しております。 (2)デリバティブ取引 (デリバティブ取引等に関する注記)に記載しております。 (3)有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品 有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品については、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似しているため、当該帳簿価額を時価としております。

3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。また、デリバティブ取引に関する契約額等は、あくまでもデリバティブ取引における名目的な契約額又は計算上の想定元本であり、当該金額自体がデリバティブ取引のリスクの大きさを示すものではありません。
----------------------------	--

(デリバティブ取引等に関する注記)

取引の時価等に関する事項

通貨関連

(平成30年1月11日現在)

(単位：円)

区分	種類	契約額等		時価	評価損益
			うち1年超		
市場取引 以外の取引	為替予約取引				
	売建	350,365,514		347,981,180	2,384,334
	米ドル	245,769,947		243,792,570	1,977,377
	ユーロ	18,111,708		17,991,450	120,258
	豪ドル	51,725,182		51,689,900	35,282
	香港ドル	17,292,834		17,135,100	157,734
	シンガポールドル	17,465,843		17,372,160	93,683
	合計	350,365,514		347,981,180	2,384,334

(注)1. 時価の算定方法

(1) 本書における開示対象ファンドの中間計算期間末日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。

同中間計算期間末日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は当該仲値で評価しております。

同中間計算期間末日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。

- ・ 同中間計算期間末日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの対顧客先物売買相場の仲値をもとに計算しております。

- ・ 同中間計算期間末日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物売買相場の仲値を用いております。

(2) 本書における開示対象ファンドの中間計算期間末日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない外貨については同中間計算期間末日の対顧客電信売買相場の仲値で評価しております。

2. 換算において円未満の端数は切り捨てております。

3. 契約額等及び時価の合計欄の金額は、各々の合計金額であります。

(1口当たり情報に関する注記)

平成30年 1月11日現在	
1口当たり純資産額	1.0090円
(1万口当たり純資産額)	10,090円)

2【ファンドの現況】

【純資産額計算書】

平成30年2月28日現在

種類	金額
----	----

資産総額	1,197,429,898 円
負債総額	1,559,144 円
純資産総額 (-)	1,195,870,754 円
発行済数量	1,214,337,057 口
1 単位当たり純資産額 (/)	0.9848 円

(ご参考：親投資信託の現況)

TMA高配当・低ボラティリティ外国株マザーファンド(為替ヘッジあり)

平成30年2月28日現在

種類	金額
資産総額	9,119,059,697 円
負債総額	227 円
純資産総額 (-)	9,119,059,470 円
発行済数量	5,478,899,612 口
1 単位当たり純資産額 (/)	1.6644 円

東京海上・外貨建て投資適格債券マザーファンド(為替ヘッジあり)

平成30年2月28日現在

種類	金額
資産総額	1,708,701,919 円
負債総額	8,914,841 円
純資産総額 (-)	1,699,787,078 円
発行済数量	1,717,456,674 口
1 単位当たり純資産額 (/)	0.9897 円

東京海上・世界REITマザーファンド(為替ヘッジあり)

平成30年2月28日現在

種類	金額
資産総額	350,742,590 円
負債総額	3 円
純資産総額 (-)	350,742,587 円
発行済数量	366,407,983 口
1 単位当たり純資産額 (/)	0.9572 円

3【委託会社等の経理状況】

<更新後>

1. 当社の財務諸表は「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号)並びに同規則第2条により、「金融商品取引業等に関する内閣府令」(平成19年内閣府令第52号)に基づいて作成しております。
また、当社の中間財務諸表は、「中間財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和52年大蔵省令第38号)並びに同規則第38条及び第57条により、「金融商品取引業等に関する内閣府令」(平成19年内閣府令第52号)に基づいて作成しております。
2. 当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第32期事業年度(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)の財務諸表について、PwCあらた有限責任監査法人により監査を受けております。
また、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当中間会計期間(平成29年4月1日から平成29年9月30日まで)の中間財務諸表について、PwCあらた有限責任監査法人による中間監査を受けております。

(1)【貸借対照表】

(単位：千円)

	第31期 (平成28年3月31日現在)	第32期 (平成29年3月31日現在)
資産の部		
流動資産		
現金・預金	6,701,500	13,325,797
前払費用	154,914	132,260
未収委託者報酬	1,571,495	1,578,384
未収収益	2,099,418	2,534,825
未収入金	166,601	1,207
繰延税金資産	173,700	287,816
1年内回収予定の敷金	315,033	-
その他の流動資産	12,650	28,360
流動資産計	11,195,315	17,888,652
固定資産		
有形固定資産	* 1 74,211	* 1 552,561
建物	2,187	439,621
器具備品	72,024	111,633
リース資産	-	1,306
無形固定資産	5,254	13,204
電話加入権	3,144	3,795
ソフトウェア仮勘定	2,110	9,409
投資その他の資産	2,366,401	2,418,251
投資有価証券	43,761	54,270
関係会社株式	1,669,990	1,672,490
その他の関係会社有価証券	31,200	31,200
長期前払費用	9,018	9,298
敷金	450,152	450,632
その他長期差入保証金	10,852	20,912
繰延税金資産	151,427	179,447
固定資産計	2,445,867	2,984,017
資産合計	13,641,183	20,872,669
負債の部		
流動負債		
リース債務	-	822
未払金	* 2 2,119,086	1,958,922
未払手数料	592,624	634,930
その他未払金	1,526,461	1,323,992
未払費用	147,843	445,613
未払消費税等	93,340	108,541
未払法人税等	736,000	735,000
預り金	39,072	41,371
前受収益	3,021	3,027
賞与引当金	196,236	274,382
流動負債計	3,334,601	3,567,681
固定負債		
リース債務	-	548
退職給付引当金	197,784	393,213
役員退職慰労引当金	21,270	24,180
固定負債計	219,054	417,941
負債合計	3,553,655	3,985,623
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,085,959	16,885,034
資本剰余金	2,000,000	2,000,000
資本剰余金	-	400,000
その他資本剰余金	-	400,000
利益剰余金	8,085,959	14,485,034

利益準備金	500,000	500,000
その他利益剰余金	7,585,959	13,985,034
特別償却準備金	-	79
繰越利益剰余金	7,585,959	13,984,954
評価・換算差額等	1,567	2,011
その他有価証券評価差額金	1,567	2,011
純資産合計	10,087,527	16,887,045
負債・純資産合計	13,641,183	20,872,669

(2)【損益計算書】

(単位：千円)

	第31期 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)	第32期 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)
営業収益		
委託者報酬	9,967,549	11,342,811
運用受託報酬	8,310,269	9,089,602
投資助言報酬	90,084	74,767
その他営業収益	1,114	64,158
営業収益計	18,369,017	20,571,339
営業費用		
支払手数料	4,535,693	5,363,864
広告宣伝費	160,685	251,016
公告費	150	313
調査費	5,212,764	5,401,672
調査費	1,906,774	1,635,494
委託調査費	3,305,989	3,766,178
委託計算費	116,997	109,429
営業雑経費	202,379	239,192
通信費	30,626	33,787
印刷費	143,441	173,307
協会費	17,642	17,533
諸会費	4,682	7,478
図書費	5,986	7,084
営業費用計	10,228,671	11,365,489
一般管理費		
給料	2,468,628	2,670,059
役員報酬	57,936	119,133
給料・手当	1,761,103	1,897,712
賞与	649,589	653,214
交際費	21,912	16,226
寄付金	-	3,598
旅費交通費	97,774	136,737
租税公課	68,294	115,360
不動産賃借料	258,391	316,801
役員退職慰労引当金繰入	3,050	2,910
退職給付費用	86,602	87,275
賞与引当金繰入	196,236	209,007
固定資産減価償却費	98,697	63,467
法定福利費	419,863	424,721
福利厚生費	7,908	8,100
諸経費	416,706	469,957
一般管理費計	4,144,067	4,524,223
営業利益	3,996,279	4,681,627
営業外収益		
受取利息	1,844	459
受取配当金	* 1 145,859	* 1 45,776
匿名組合投資利益	* 1 164,645	* 1 77,298
為替差益	-	8,924

雑益	13,905	10,134
営業外収益計	326,255	142,593
営業外費用		
為替差損	13,297	-
雑損	19,880	6,661
営業外費用計	33,178	6,661
経常利益	4,289,355	4,817,559
特別損失		
器具備品除却損	-	4,685
本社移転費用	-	229,113
特別損失計	-	233,799
税引前当期純利益	4,289,355	4,583,760
法人税、住民税及び事業税	1,425,847	1,455,944
法人税等調整額	25,250	25,233
法人税等合計	1,400,596	1,430,711
当期純利益	2,888,759	3,153,048

(3) 【株主資本等変動計算書】

第31期(自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				株主資本合計
	資本金	利益準備金	利益剰余金		
			その他利益 剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計	
当期首残高	2,000,000	500,000	10,638,296	11,138,296	13,138,296
当期変動額					
剰余金の配当			5,941,096	5,941,096	5,941,096
当期純利益			2,888,759	2,888,759	2,888,759
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	3,052,336	3,052,336	3,052,336
当期末残高	2,000,000	500,000	7,585,959	8,085,959	10,085,959

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差額等 合計	
当期首残高	5,414	5,414	13,143,710
当期変動額			
剰余金の配当			5,941,096
当期純利益			2,888,759
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	3,846	3,846	3,846
当期変動額合計	3,846	3,846	3,056,183
当期末残高	1,567	1,567	10,087,527

第32期(自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本					
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		
		その他資本 剰余金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他利益 剰余金	
					特別償却 準備金	繰越利益 剰余金
当期首残高	2,000,000	-	-	500,000	-	7,585,959
当期変動額						
剰余金の配当						791,278
合併による増加		400,000	400,000		103	4,037,200
特別償却準備金の取崩					24	24
当期純利益						3,153,048
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）						
当期変動額合計	-	400,000	400,000	-	79	6,398,995
当期末残高	2,000,000	400,000	400,000	500,000	79	13,984,954

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	利益剰余金	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等 合計	
	利益剰余金 合計				
当期首残高	8,085,959	10,085,959	1,567	1,567	10,087,527
当期変動額					
剰余金の配当	791,278	791,278			791,278
合併による増加	4,037,304	4,437,304			4,437,304
特別償却準備金の取崩	-	-			-
当期純利益	3,153,048	3,153,048			3,153,048
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）			443	443	443
当期変動額合計	6,399,074	6,799,074	443	443	6,799,518
当期末残高	14,485,034	16,885,034	2,011	2,011	16,887,045

注記事項

重要な会計方針

第32期 自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日
<p>1. 有価証券の評価基準及び評価方法</p> <p>(1) 子会社株式及び関連会社株式並びにその他の関係会社有価証券 移動平均法による原価法</p> <p>(2) その他有価証券 時価のあるもの 決算日の市場価格等に基づく時価法 (評価差額は、全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定) 時価を把握することが極めて困難と認められるもの 移動平均法による原価法</p>

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産（リース資産を除く）

定率法を採用しております。ただし、平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備については、定額法を採用しております。また、取得価額が10万円以上20万円未満の少額減価償却資産については、一括償却資産として3年間で均等償却する方法を採用しております。

(2) リース資産

所有権移転外ファイナンス・リースに係る有形固定資産中のリース資産は、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

3. 引当金の計上基準

(1) 賞与引当金

従業員賞与との支給に充てるため、支給見込額の当期負担額を計上しております。

(2) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき計上しております。

退職給付引当金及び退職給付費用の計算に、退職給付に係る期末自己都合要支給額を退職給付債務とする方法を用いた簡便法を適用しております。

(3) 役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支出に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。

4. 消費税等の会計処理方法

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

(会計方針の変更)

第32期

自 平成28年4月1日
至 平成29年3月31日

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取り扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当事業年度に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。これにより、従来の方法と比べて、当事業年度の減価償却費が19,582千円減少し、営業利益、経常利益及び税引前当期純利益がそれぞれ19,582千円増加しております。

(貸借対照表関係)

第31期 平成28年3月31日現在	第32期 平成29年3月31日現在
* 1. 有形固定資産の減価償却累計額は次のとおりであります。	* 1. 有形固定資産の減価償却累計額は次のとおりであります。
建物 226,926千円	建物 20,366千円
器具備品 496,441千円	器具備品 453,412千円
	リース資産 2,612千円
* 2. 関係会社に対する主な資産・負債は次のとおりであります。	
関係会社に対する未払金 732,363千円	

(損益計算書関係)

第31期 自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日	第32期 自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日

<p>* 1 . 関係会社との主な取引高は次のとおりであります。</p> <p>関係会社からの受取配当金 142,429千円 関係会社からの匿名組合契約に基づく利益の分配 164,645千円</p> <p>当事業年度において、関係会社に対する営業費用及び一般管理費の合計額が営業費用及び一般管理費の合計額の100分の20を超えており、その金額は3,142,828千円であります。</p>	<p>* 1 . 関係会社との主な取引高は次のとおりであります。</p> <p>関係会社からの受取配当金 45,377千円 関係会社からの匿名組合契約に基づく利益の分配 77,298千円</p>
--	--

(株主資本等変動計算書関係)

第31期(自平成27年4月1日至平成28年3月31日)

1. 発行済株式に関する事項

(単位:株)

株式の種類	平成27年4月1日 現在	増加	減少	平成28年3月31日 現在
普通株式	38,300	-	-	38,300

2. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

平成27年6月30日の定時株主総会において、次のとおり決議しております。

・普通株式の配当に関する事項

(イ) 配当金の総額	939,116千円
(ロ) 1株当たり配当額	24,520円
(ハ) 基準日	平成27年3月31日
(ニ) 効力発生日	平成27年6月30日

平成27年11月24日の臨時株主総会において、次のとおり決議しております。

・普通株式の配当に関する事項

(イ) 配当金の総額	5,001,980千円
(ロ) 1株当たり配当額	130,600円
(ハ) 効力発生日	平成27年11月30日

(注) 基準日は設定しておりません。配当の効力発生日時点の株主へ配当を実施しております。

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

平成28年6月28日の定時株主総会において、次のとおり決議しております。

・普通株式の配当に関する事項

(イ) 配当金の総額	791,278千円
(ロ) 配当の原資	利益剰余金
(ハ) 1株当たり配当額	20,660円
(ニ) 基準日	平成28年3月31日
(ホ) 効力発生日	平成28年6月28日

第32期(自平成28年4月1日至平成29年3月31日)

1. 発行済株式に関する事項

(単位:株)

株式の種類	平成28年4月1日 現在	増加	減少	平成29年3月31日 現在
普通株式	38,300	-	-	38,300

2. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

平成28年6月28日の定時株主総会において、次のとおり決議しております。

・普通株式の配当に関する事項

(イ) 配当金の総額	791,278千円
(ロ) 1株当たり配当額	20,660円

(八) 基準日	平成28年3月31日
(二) 効力発生日	平成28年6月28日

- (2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの
平成29年6月30日の定時株主総会において、次のとおり配当を提案する予定であります。

・普通株式の配当に関する事項

(イ) 配当金の総額	1,784,014千円
(ロ) 配当の原資	繰越利益剰余金
(ハ) 1株当たり配当額	46,580円
(二) 基準日	平成29年3月31日
(ホ) 効力発生日	平成29年6月30日

(リース取引関係)

第31期(自平成27年4月1日至平成28年3月31日)

該当事項はありません。

第32期(自平成28年4月1日至平成29年3月31日)

所有権移転外ファイナンス・リース取引

1. リース資産の内容

事務機器の一部については、所有権移転外ファイナンス・リース契約により使用しております。

2. リース資産の減価償却の方法

「重要な会計方針」の「2. 固定資産の減価償却の方法」に記載の通りであります。

(金融商品関係)

1. 金融商品の状況に関する事項

第31期 自平成27年4月1日 至平成28年3月31日	第32期 自平成28年4月1日 至平成29年3月31日
(1) 金融商品に対する取組方針 当社の資本は本来の事業目的のために使用することを基本とし、資産の運用に際しては、資産運用リスクを極力最小限に留めることを基本方針としております。	(1) 金融商品に対する取組方針 同左
(2) 金融商品の内容及びそのリスク 営業債権である未収収益は顧客の信用リスクに晒されており、未収委託者報酬は市場リスクに晒されております。投資有価証券は、主にファンドの自己設定に関連する投資信託であり、基準価額の変動リスクに晒されております。 営業債務である未払金は、ほとんど1年以内の支払期日であり、流動性リスクに晒されております。	(2) 金融商品の内容及びそのリスク 同左
(3) 金融商品に係るリスク管理体制 信用リスク 未収収益については、管理部門において取引先ごとに期日及び残高を把握することで、回収懸念の早期把握や軽減を図っております。	(3) 金融商品に係るリスク管理体制 信用リスク 同左

<p>市場リスク 未収委託者報酬には、運用資産の悪化から回収できず当社が損失を被るリスクが存在しますが、過去の回収実績からリスクは僅少であると判断しております。</p> <p>投資有価証券については、管理部門において定期的に時価を把握する体制としております。</p> <p>流動性リスク 当社は、日々資金残高管理を行っており流動性リスクを管理しております。</p>	<p>市場リスク 同左</p> <p>流動性リスク 同左</p>
--	--

2. 金融商品の時価等に関する事項

第31期（平成28年3月31日現在）における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは次表には含めておりません（（注2）参照）。

（単位：千円）

	貸借対照表計上額（*）	時価（*）	差額
(1)現金・預金	6,701,500	6,701,500	-
(2)未収委託者報酬	1,571,495	1,571,495	-
(3)未収収益	2,099,418	2,099,418	-
(4)未収入金	166,601	166,601	-
(5)1年内回収予定の敷金	315,033	315,033	-
(6)投資有価証券 其他有価証券	43,761	43,761	-
(7)預り金	(39,072)	(39,072)	-
(8)未払金	(2,119,086)	(2,119,086)	-
(9)未払費用	(147,843)	(147,843)	-
(10)未払消費税等	(93,340)	(93,340)	-
(11)未払法人税等	(736,000)	(736,000)	-

（*）負債に計上されているものについては、（ ）で示しております。

第32期（平成29年3月31日現在）における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは次表には含めておりません（（注2）参照）。

（単位：千円）

	貸借対照表計上額（*）	時価（*）	差額
(1)現金・預金	13,325,797	13,325,797	-
(2)未収委託者報酬	1,578,384	1,578,384	-
(3)未収収益	2,534,825	2,534,825	-
(4)未収入金	1,207	1,207	-
(5)投資有価証券 其他有価証券	54,270	54,270	-
(6)預り金	(41,371)	(41,371)	-
(7)未払金	(1,958,922)	(1,958,922)	-
(8)未払費用	(445,613)	(445,613)	-
(9)未払消費税等	(108,541)	(108,541)	-
(10)未払法人税等	(735,000)	(735,000)	-

（*）負債に計上されているものについては、（ ）で示しております。

（注1）金融商品の時価の算定方法並びに有価証券及びデリバティブ取引に関する事項

第31期 平成28年3月31日現在	第32期 平成29年3月31日現在
----------------------	----------------------

<p>(1) 現金・預金、(2) 未収委託者報酬、(3) 未収収益、(4) 未収入金、(5) 1年内回収予定の敷金、(7) 預り金、(8) 未払金、(9) 未払費用、(10) 未払消費税等及び(11) 未払法人税等</p> <p>これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。</p> <p>(6) 投資有価証券 時価の算定方法につきましては「重要な会計方針」の「1. 有価証券の評価基準及び評価方法」に記載しております。</p>	<p>(1) 現金・預金、(2) 未収委託者報酬、(3) 未収収益、(4) 未収入金、(6) 預り金、(7) 未払金、(8) 未払費用、(9) 未払消費税等及び(10) 未払法人税等</p> <p>これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。</p> <p>(5) 投資有価証券 同左</p>
---	---

(注2) 時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

第31期 平成28年3月31日現在		第32期 平成29年3月31日現在	
以下については、市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積ること等ができず、時価を把握することが極めて困難と認められるため、上表には含めておりません。		以下については、市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積ること等ができず、時価を把握することが極めて困難と認められるため、上表には含めておりません。	
(単位：千円)		(単位：千円)	
	貸借対照表計上額		貸借対照表計上額
子会社株式	1,637,243	子会社株式	1,639,743
関連会社株式	32,747	関連会社株式	32,747
その他の関係会社 有価証券	31,200	その他の関係会社 有価証券	31,200
敷金	450,152	敷金	450,632
その他長期差入保証金	10,852	その他長期差入保証金	20,912

(注3) 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

第31期 平成28年3月31日現在	第32期 平成29年3月31日現在
該当事項はありません。	同左

(注4) 金銭債権及び満期がある有価証券の決算日後の償還予定額

第31期(平成28年3月31日現在)

(単位：千円)

	1年以内	1年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超
預金	6,701,448	-	-	-
未収委託者報酬	1,571,495	-	-	-
未収収益	2,099,418	-	-	-
未収入金	166,601	-	-	-
1年内回収予定の敷金	315,033	-	-	-
投資有価証券 その他有価証券のうち満期があるもの	-	17,460	3,952	-
合計	10,853,997	17,460	3,952	-

第32期(平成29年3月31日現在)

(単位：千円)

	1年以内	1年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超
預金	13,325,573	-	-	-
未収委託者報酬	1,578,384	-	-	-
未収収益	2,534,825	-	-	-
未収入金	1,207	-	-	-
投資有価証券 その他有価証券のうち満期があるもの	6,000	21,783	6,000	-
合計	17,445,990	21,783	6,000	-

(有価証券関係)

第31期 平成28年3月31日現在	第32期 平成29年3月31日現在																																
<p>1. 子会社株式及び関連会社株式並びにその他の関係会社有価証券</p> <p>子会社株式及び関連会社株式(貸借対照表計上額 子会社株式1,637,243千円、関連会社株式32,747千円)並びにその他の関係会社有価証券(貸借対照表計上額 31,200千円)は、市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積ること等ができず、時価を把握することが極めて困難と認められることから、記載しておりません。</p>	<p>1. 子会社株式及び関連会社株式並びにその他の関係会社有価証券</p> <p>子会社株式及び関連会社株式(貸借対照表計上額 子会社株式1,639,743千円、関連会社株式32,747千円)並びにその他の関係会社有価証券(貸借対照表計上額 31,200千円)は、市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積ること等ができず、時価を把握することが極めて困難と認められることから、記載しておりません。</p>																																
<p>2. その他有価証券 (単位：千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>貸借対照表計上額</th> <th>取得原価</th> <th>差額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの 証券投資信託</td> <td>26,436</td> <td>21,324</td> <td>5,111</td> </tr> <tr> <td>貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの 証券投資信託</td> <td>17,324</td> <td>20,176</td> <td>2,851</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>43,761</td> <td>41,501</td> <td>2,259</td> </tr> </tbody> </table>	区分	貸借対照表計上額	取得原価	差額	貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの 証券投資信託	26,436	21,324	5,111	貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの 証券投資信託	17,324	20,176	2,851	合計	43,761	41,501	2,259	<p>2. その他有価証券 (単位：千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>貸借対照表計上額</th> <th>取得原価</th> <th>差額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの 証券投資信託</td> <td>33,725</td> <td>27,289</td> <td>6,435</td> </tr> <tr> <td>貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの 証券投資信託</td> <td>20,545</td> <td>24,081</td> <td>3,536</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>54,270</td> <td>51,371</td> <td>2,899</td> </tr> </tbody> </table>	区分	貸借対照表計上額	取得原価	差額	貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの 証券投資信託	33,725	27,289	6,435	貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの 証券投資信託	20,545	24,081	3,536	合計	54,270	51,371	2,899
区分	貸借対照表計上額	取得原価	差額																														
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの 証券投資信託	26,436	21,324	5,111																														
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの 証券投資信託	17,324	20,176	2,851																														
合計	43,761	41,501	2,259																														
区分	貸借対照表計上額	取得原価	差額																														
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの 証券投資信託	33,725	27,289	6,435																														
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの 証券投資信託	20,545	24,081	3,536																														
合計	54,270	51,371	2,899																														
<p>3. 当事業年度中に売却したその他有価証券 該当事項はありません。</p>	<p>3. 当事業年度中に売却したその他有価証券 同左</p>																																

(退職給付関係)

1. 採用している退職給付制度の概要

当社は、従業員の退職給付に備えるため、非積立型の確定給付制度及び確定拠出年金制度を採用しております。

退職一時金制度（非積立型制度であります。）では、当社従業員を制度対象として、給与と勤続年数に基づき算出した一時金を支給しております。受入出向者については退職給付負担金を支払っており、損益計算書上の退職給付費用には当該金額が含まれております。貸借対照表上は出向期間3年以下の出向者に係る金額が退職給付引当金に、出向期間3年超の出向者に係る金額がその他未払金にそれぞれ含まれております。

なお、当社が有する退職一時金制度は、簡便法により退職給付引当金及び退職給付費用を計算しております。

2. 確定給付制度

(1) 簡便法を適用した制度の、退職給付引当金の期首残高と期末残高の調整表

	第31期		第32期	
	自	平成27年4月1日 至 平成28年3月31日	自	平成28年4月1日 至 平成29年3月31日
退職給付引当金の期首残高		179,872千円		197,784千円
退職給付費用		33,702千円		31,281千円
退職給付の支払額		15,789千円		6,251千円
合併による増加		-		179,615千円
確定拠出年金制度への移管額		-		9,217千円
退職給付引当金の期末残高		197,784千円		393,213千円

(2) 退職給付債務及び年金資産の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金及び前払年金費用の調整表

	第31期		第32期	
	平成28年3月31日現在		平成29年3月31日現在	
積立型制度の退職給付債務		-		-
年金資産		-		-
		-		-
非積立型制度の退職給付債務		197,784千円		393,213千円
貸借対照表に計上された負債と資産の純額		197,784千円		393,213千円
退職給付引当金		197,784千円		393,213千円
貸借対照表に計上された負債と資産の純額		197,784千円		393,213千円

(3) 退職給付費用

	第31期		第32期	
	自	平成27年4月1日 至 平成28年3月31日	自	平成28年4月1日 至 平成29年3月31日
簡便法で計算した退職給付費用		33,702千円		22,064千円

3. 確定拠出制度

当社の確定拠出制度への要拠出額は、第31期（自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日）43,203千円、第32期（自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日）46,034千円であります。

(税効果会計関係)

1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生 の主な原因別の内訳

	第31期 (平成28年3月31日現在)	第32期 (平成29年3月31日現在)

繰延税金資産		
役員退職慰労引当金	6,512千円	7,403千円
退職給付引当金	60,561千円	120,401千円
未払金	2,992千円	3,507千円
賞与引当金	60,558千円	84,674千円
未払法定福利費	7,858千円	12,005千円
未払事業所税	2,632千円	3,291千円
未払事業税	45,510千円	35,145千円
未払調査費	45,270千円	45,734千円
減価償却超過額	85,044千円	52,565千円
未払確定拠出年金	1,112千円	1,236千円
未払費用	7,764千円	102,221千円
繰延税金資産小計	325,819千円	468,187千円
評価性引当額	-	-
繰延税金資産合計	325,819千円	468,187千円
繰延税金負債		
特別償却準備金	-	35千円
その他有価証券評価差額金	691千円	887千円
繰延税金負債合計	691千円	923千円
繰延税金資産の純額	325,127千円	467,264千円

2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳

第31期 (平成28年3月31日現在)	第32期 (平成29年3月31日現在)
法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間の差異が法定実効税率の100分の5以下であるため注記を省略しております。	同左

(企業結合等関係)

第31期(自平成27年4月1日至平成28年3月31日)

該当事項はありません。

第32期(自平成28年4月1日至平成29年3月31日)

共通支配下の取引等

当社は、平成28年3月9日付け合併契約に基づき、東京海上不動産投資顧問株式会社と、平成28年10月1日付けで合併いたしました。

1. 取引の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 東京海上不動産投資顧問株式会社

事業の内容 不動産を対象とした投資運用業、投資助言業等

(2) 企業結合日

平成28年10月1日

(3) 企業結合の法的形式

東京海上アセットマネジメント株式会社を吸収合併存続会社、東京海上不動産投資顧問株式会社を吸収合併消滅会社とする吸収合併

(4) 結合後企業の名称

東京海上アセットマネジメント株式会社

(5) 企業結合の目的

東京海上グループのアセットマネジメント会社である2社を統合することでのシナジー効果を追求いたします。具体的には、商品のラインアップを拡大することで多様なニーズを有する投資家への訴求力を高めること、コーポレート部門の統合による効率化と機能強化を図ることを目的として行うものであります。

2. 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日公表分）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 平成25年9月13日公表分）に基づき、共通支配下の取引として処理いたしました。

(セグメント情報等)

第31期 自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日	第32期 自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日
<p>[セグメント情報] 当社は「投資信託及び投資法人に関する法律」に定める投資信託委託会社であり証券投資信託の設定を行うとともに「金融商品取引法」に定める金融商品取引業者として運用（投資運用業）を行っております。また「金融商品取引法」に定める投資助言・代理業を行っております。</p> <p>当社は、投資運用業及び投資助言・代理業にこれらの附帯業務を集約した単一セグメントを報告セグメントとしております。従いまして、開示対象となるセグメントはありませんので、記載を省略しております。</p> <p>[関連情報] 1. 製品及びサービスごとの情報 単一のサービス区分の外部顧客への営業収益が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。</p> <p>2. 地域ごとの情報 (1) 営業収益 本邦の外部顧客への営業収益が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。</p> <p>(2) 有形固定資産 本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。</p> <p>3. 主要な顧客ごとの情報 当社は、外部顧客からの収益のうち、損益計算書の営業収益の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。</p>	<p>[セグメント情報] 同左</p> <p>[関連情報] 1. 製品及びサービスごとの情報 同左</p> <p>2. 地域ごとの情報 (1) 営業収益 同左</p> <p>(2) 有形固定資産 同左</p> <p>3. 主要な顧客ごとの情報 同左</p>

(関連当事者情報)

第31期（自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日）

1. 関連当事者との取引

(1) 財務諸表提出会社の親会社及び主要株主（会社等の場合に限る。）等

種類	会社等の名称 又は氏名	所在地	資本金 又は 出資金 (千円)	事業の 内容 又は 職業	議決権の 所有 割合	関連当 事者との 関係	取引の 内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
親会社	東京海上日動火災 保険株式会社	東京都 千代田区	101,994,694	損害保険業	(被所有) 直接100%	投資信託 の取扱 役員 の兼任	投資信託 に係る事 務代行手 数料の 支払	587,292	未払手数料	162,226

(注) * 取引価格については、市場実勢等を勘案し、交渉の上決定しております。

* 取引金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 財務諸表提出会社の子会社及び関連会社等

種類	会社等の名称 又は氏名	所在地	資本金 又は 出資金	事業の 内容 又は 職業	議決権の 所有 割合	関連当 事者との 関係	取引の 内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
子会社	TOKIO MARINE ASSET MANAGEMENT INTERNATIONAL PTE.LTD.	シンガポール・ シンガポール	SGD 17,400千	投資運用業 投資助言業	(所有) 直接100%	投資助言 の受入 役員 の兼任	増資の 引受	1,415,648	-	-
関連会社	TOKIO MARINE ROGGE ASSET MANAGEMENT LIMITED	英国・ ロンドン	GBP 300千	投資運用業 投資助言業	(所有) 直接50%	運用の 再委任 役員 の派遣	委託 調査費 の支払	1,250,497	未払金	255,308
									未払費用	4,855

(注) * 取引価格については、市場実勢等を勘案し、交渉の上決定しております。

* 取引金額には、消費税等は含まれておりません。

* 増資の引き受けは、子会社が行った増資を引き受けたものであります。

(3) 財務諸表提出会社と同一の親会社をもつ会社等及び財務諸表提出会社のその他の関係会社の子会社等重要な取引はありません。

(4) 財務諸表提出会社の役員及び主要株主（個人の場合に限る。）等重要な取引はありません。

2. 親会社又は重要な関連会社に関する情報

(1) 親会社情報

東京海上ホールディングス株式会社（東京証券取引所に上場）

東京海上日動火災保険株式会社（非上場）

(2) 重要な関連会社の要約財務情報

重要な関連会社はありません。

第32期（自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日）

1. 関連当事者との取引

(1) 財務諸表提出会社の親会社及び主要株主（会社等の場合に限る。）等重要な取引はありません。

(2) 財務諸表提出会社の子会社及び関連会社等

種類	会社等の名称 又は氏名	所在地	資本金 又は 出資金	事業の 内容 又は 職業	議決権の 所有 割合	関連当 事者との 関係	取引の 内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
----	----------------	-----	------------------	-----------------------	------------------	-------------------	-----------	--------------	----	--------------

関連会社	TOKIO MARINE ROGGE ASSET MANAGEMENT LIMITED	英国・ ロンドン	GBP 300千	投資運用業 投資助言業	(所有) 直接50%	運用の 再委任	委託 調査費 の支払	917,507	未払金	200,874
						役員 の 派遣			未払費用	14,636

(注) * 取引価格については、市場実勢等を勘案し、交渉の上決定しております。

* 取引金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 財務諸表提出会社と同一の親会社をもつ会社等及び財務諸表提出会社のその他の関係会社の子会社等

種類	会社等の名称 又は氏名	所在地	資本金 又は 出資金	事業の 内容 又は 職業	議決権の 所有 割合	関連当 事者との 関係	取引の 内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
同一の 親会社 をもつ 会社	東京海上日動火災 保険株式会社	東京都 千代田区	101,994,694 千円	損害保険業	なし	運用の 一任 役員 の 兼任	運用受 託報酬 の受取	1,247,159	未収収益	285,970
同一の 親会社 をもつ 会社	Delphi Capital Management, Inc.	米国・ ニューヨーク	USD 1千	資産運用業	なし	運用の 再委託	委託 調査費 の支払	763,120	未払金	225,715

(注) * 取引価格については、市場実勢等を勘案し、交渉の上決定しております。

* 取引金額には、消費税等は含まれておりません。

(4) 財務諸表提出会社の役員及び主要株主(個人の場合に限る。)等
重要な取引はありません。

2. 親会社又は重要な関連会社に関する情報

(1) 親会社情報

東京海上ホールディングス株式会社(東京証券取引所に上場)

(2) 重要な関連会社の要約財務情報

重要な関連会社はありません。

(1株当たり情報)

第31期 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)	
1株当たり純資産額	263,381円91銭
1株当たり当期純利益金額	75,424円51銭
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。	
(注) 1株当たり純資産額の算定上の基礎	
貸借対照表の純資産の部の合計額	10,087,527千円
純資産の部の合計額から控除する金額	-
普通株式に係る当期末の純資産額	10,087,527千円
1株当たり純資産額の算定に用いられた当期末の普通株式の数	38,300株
1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎	
損益計算書上の当期純利益金額	2,888,759千円
普通株主に帰属しない金額	-
普通株式に係る当期純利益金額	2,888,759千円
普通株式の期中平均株式数	38,300株

第32期 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	
1 株当たり純資産額	440,915円03銭
1 株当たり当期純利益金額	82,325円02銭
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。	
(注) 1 株当たり純資産額の算定上の基礎	
貸借対照表の純資産の部の合計額	16,887,045千円
純資産の部の合計額から控除する金額	-
普通株式に係る当期末の純資産額	16,887,045千円
1株当たり純資産額の算定に用いられた当期末の普通株式の数	38,300株
1 株当たり当期純利益金額の算定上の基礎	
損益計算書上の当期純利益金額	3,153,048千円
普通株主に帰属しない金額	-
普通株式に係る当期純利益金額	3,153,048千円
普通株式の期中平均株式数	38,300株

[次へ](#)

中間財務諸表
中間貸借対照表

(単位：千円)

当中間会計期間
(平成29年9月30日現在)

資産の部

流動資産

現金・預金		13,121,777
前払費用		136,186
未収委託者報酬		1,501,112
未収収益		3,077,303
未収入金		19,258
繰延税金資産		456,261
その他の流動資産		14,004
流動資産計		18,325,904

固定資産

有形固定資産	* 1	519,084
建物		424,900
器具備品		93,270
リース資産		914
無形固定資産		14,776
電話加入権		3,795
ソフトウェア仮勘定		10,981
投資その他の資産		2,395,708
投資有価証券		51,472
関係会社株式		1,673,049
その他の関係会社有価証券		31,200
長期前払費用		6,978
敷金		450,632
その他長期差入保証金		10,882
繰延税金資産		171,493

固定資産計		2,929,569
-------	--	-----------

資産合計		21,255,474
------	--	------------

負債の部

流動負債

リース債務		822
未払金		1,874,999
未払手数料		605,162
その他未払金		1,269,837
未払費用		497,599
未払消費税等	* 2	148,152
未払法人税等		946,133
預り金		50,300
前受収益		15,656
賞与引当金		504,212
その他の流動負債		5
流動負債計		4,037,882

固定負債

リース債務		137
退職給付引当金		406,567
固定負債計		406,704

負債合計	4,444,587
純資産の部	
株主資本	16,809,064
資本金	2,000,000
資本剰余金	400,000
その他資本剰余金	400,000
利益剰余金	14,409,064
利益準備金	500,000
その他利益剰余金	13,909,064
特別償却準備金	55
繰越利益剰余金	13,909,008
評価・換算差額等	1,823
その他有価証券評価差額金	1,823
純資産合計	16,810,887
負債・純資産合計	21,255,474

中間損益計算書

(単位：千円)

	当中間会計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
営業収益	
委託者報酬	5,931,443
運用受託報酬	4,877,342
投資助言報酬	33,908
その他営業収益	78,546
営業収益計	10,921,241
営業費用	
支払手数料	2,776,342
広告宣伝費	98,585
調査費	2,891,626
調査費	932,244
委託調査費	1,959,381
委託計算費	55,194
営業雑経費	123,762
通信費	16,308
印刷費	83,463
協会費	12,174
諸会費	5,445
図書費	6,370
営業費用計	5,945,511
一般管理費	
給料	1,216,540
役員報酬	67,194
給料・手当	1,051,264
賞与	98,082
交際費	7,908
寄付金	3,384
旅費交通費	89,015
租税公課	70,429
不動産賃借料	187,845
役員退職慰労金	6,710
退職給付費用	56,032

賞与引当金繰入		504,212
固定資産減価償却費	* 1	36,052
法定福利費		236,994
福利厚生費		5,263
諸経費		214,571
一般管理費計		2,634,962
営業利益		2,340,767
営業外収益		
受取利息		153
受取配当金		101,549
雑益		5,847
営業外収益計		107,550
営業外費用		
為替差損		15,636
雑損		499
営業外費用計		16,135
経常利益		2,432,181
税引前中間純利益		2,432,181
法人税、住民税及び事業税		884,545
法人税等調整額		160,407
法人税等合計		724,138
中間純利益		1,708,043

中間株主資本等変動計算書

当中間会計期間（自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日）

（単位：千円）

	株主資本					
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金	
		その他資本 剰余金	資本剰余金 合計		その他利益 剰余金	
					特別償却 準備金	繰越利益 剰余金
当期首残高	2,000,000	400,000	400,000	500,000	79	13,984,954
当中間期変動額						
剰余金の配当						1,784,014
特別償却準備金の取崩					24	24
中間純利益						1,708,043
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)						
当中間期変動額合計	-	-	-	-	24	75,946
当中間期末残高	2,000,000	400,000	400,000	500,000	55	13,909,008

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	利益剰余金	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等 合計	
	利益剰余金 合計				
当期首残高	14,485,034	16,885,034	2,011	2,011	16,887,045
当中間期変動額					
剰余金の配当	1,784,014	1,784,014			1,784,014
特別償却準備金の取崩	-	-			-

中間純利益	1,708,043	1,708,043			1,708,043
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)			188	188	188
当中間期変動額合計	75,970	75,970	188	188	76,158
当中間期末残高	14,409,064	16,809,064	1,823	1,823	16,810,887

注記事項

重要な会計方針

	当中間会計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
1. 資産の評価基準及び 評価方法	<p>有価証券</p> <p>(1) 子会社株式及び関連会社株式並びにその他の関係会社有価証券 移動平均法による原価法</p> <p>(2) その他有価証券 時価のあるもの 中間会計期間末日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定） 時価を把握することが極めて困難と認められるもの 移動平均法による原価法</p>
2. 固定資産の減価償却 の方法	<p>(1) 有形固定資産（リース資産を除く） 定率法を採用しております。ただし、平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備については、定額法を採用しております。また、取得価額が10万円以上20万円未満の少額減価償却資産については、一括償却資産として3年間で均等償却する方法を採用しております。</p> <p>(2) リース資産 所有権移転外ファイナンス・リースに係る有形固定資産中のリース資産は、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。</p>
3. 引当金の計上基準	<p>(1) 賞与引当金 従業員賞与の支給に充てるため、支給見込額の当中間会計期間負担額を計上しております。</p> <p>(2) 退職給付引当金</p>

	<p>従業員の退職給付に備えるため、当中間会計期間末における退職給付債務の見込額に基づき計上しております。</p> <p>退職給付引当金及び退職給付費用の計算に、退職給付に係る中間期末自己都合要支給額を退職給付債務とする方法を用いた簡便法を適用しております。</p> <p>(3) 役員退職慰労引当金</p> <p>役員の退職慰労金の支出に備えるため、内規に基づく中間期末要支給額を計上しております。</p>
4. 消費税等の会計処理方法	消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

(中間貸借対照表関係)

	当中間会計期間 (平成29年9月30日現在)						
1 有形固定資産の減価償却累計額	<table border="1"> <tr> <td>建物</td> <td>35,717千円</td> </tr> <tr> <td>器具備品</td> <td>471,879千円</td> </tr> <tr> <td>リース資産</td> <td>3,003千円</td> </tr> </table>	建物	35,717千円	器具備品	471,879千円	リース資産	3,003千円
建物	35,717千円						
器具備品	471,879千円						
リース資産	3,003千円						
2 消費税等の取扱い	仮払消費税等及び仮受消費税等は相殺のうえ、未払消費税等として表示しております。						

(中間損益計算書関係)

	当中間会計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
1 減価償却実施額	有形固定資産 36,052千円

(中間株主資本等変動計算書関係)

当中間会計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)				
1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項				
株式の種類	当事業年度期首 (株)	当中間会計期間 増加 (株)	当中間会計期間 減少 (株)	当中間会計期間末 (株)
普通株式	38,300	-	-	38,300
2. 配当に関する事項				
<p>配当金支払額</p> <p>平成29年6月30日の定時株主総会において、次のとおり決議しております。</p> <p>・普通株式の配当に関する事項</p> <p>(イ) 配当金の総額・・・・・・・・・・1,784,014千円</p> <p>(ロ) 1株当たり配当額・・・・・・・・・・46,580円</p> <p>(ハ) 基準日・・・・・・・・・・平成29年3月31日</p> <p>(ニ) 効力発生日・・・・・・・・・・平成29年6月30日</p>				

(リース取引関係)

当中間会計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

所有権移転外ファイナンス・リース取引

1．リース資産の内容

事務機器の一部については、所有権移転外ファイナンス・リース契約により使用しております。

2．リース資産の減価償却の方法

「重要な会計方針」の「2．固定資産の減価償却の方法」に記載の通りであります。

(金融商品関係)

当中間会計期間（平成29年9月30日現在）

金融商品の時価等に関する事項

平成29年9月30日現在における中間貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは次表には含まれておりません（注2）参照）。

（単位：千円）

	中間貸借対照表計上額（*）	時価（*）	差額
(1)現金・預金	13,121,777	13,121,777	-
(2)未収委託者報酬	1,501,112	1,501,112	-
(3)未収収益	3,077,303	3,077,303	-
(4)未収入金	19,258	19,258	-
(5)投資有価証券			
その他有価証券	51,472	51,472	-
(6)預り金	(50,300)	(50,300)	-
(7)未払金	(1,874,999)	(1,874,999)	-
(8)未払費用	(497,599)	(497,599)	-
(9)未払消費税等	(148,152)	(148,152)	-
(10)未払法人税等	(946,133)	(946,133)	-

（*）負債で計上されているものについては、（ ）で示しております。

(注1)金融商品の時価の算定方法並びに有価証券及びデリバティブ取引に関する事項

(1)現金・預金、(2)未収委託者報酬、(3)未収収益、(4)未収入金、(6)預り金、(7)未払金、(8)未払費用、(9)未払消費税等並びに(10)未払法人税等

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(5)投資有価証券

時価の算定方法につきましては「重要な会計方針」の「1．資産の評価基準及び評価方法」に記載しております。

(注2)子会社株式（中間貸借対照表計上額 1,640,302千円）及び関連会社株式（中間貸借対照表計上額 32,747千円）及びその他の関係会社有価証券（中間貸借対照表計上額 31,200千円）及び敷金（中間貸借対照表計上額 450,632千円）並びにその他長期差入保証金（中間貸借対照表計上額 10,882千円）は、市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積ること等ができず、時価を把握することが極めて困難と認められるため、上表には含めておりません。

(有価証券関係)

当中間会計期間（平成29年9月30日現在）

1．子会社株式及び関連会社株式並びにその他の関係会社有価証券

子会社株式及び関連会社株式（中間貸借対照表計上額 子会社株式1,640,302千円、関連会社株式32,747千円）並びにその他の関係会社有価証券（中間貸借対照表計上額 31,200千円）は、市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積ること等ができず、時価を把握することが極めて困難と認められることから、記載しておりません。

2．その他有価証券

	種類	中間貸借対照表計上額（千円）	取得原価（千円）	差額（千円）
中間貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	証券投資信託	33,885	27,953	5,932

中間貸借対照表計 上額が取得原価を 超えないもの	証券投資信託	17,587	20,891	3,304
合計		51,472	48,844	2,628

(セグメント情報等)

[セグメント情報]

当中間会計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

当社は「投資信託及び投資法人に関する法律」に定める投資信託委託会社であり証券投資信託の設定を行うとともに「金融商品取引法」に定める金融商品取引業者として運用(投資運用業)を行っております。また「金融商品取引法」に定める投資助言・代理業を行っております。

当社は、投資運用業及び投資助言・代理業にこれらの附帯業務を集約した単一セグメントを報告セグメントとしております。従いまして、開示対象となるセグメントはありませんので、記載を省略しております。

[関連情報]

当中間会計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一のサービス区分の外部顧客への営業収益が中間損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 営業収益

本邦の外部顧客への営業収益が中間損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が中間貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

投資信託の名称	委託者報酬 (単位:千円)	関連するセグメント名
東京海上・円資産バランスファンド(毎月決算型)	1,428,755	投資運用業及び投資助言・代理業にこれらの附帯業務を集約した単一セグメント

(1株当たり情報)

当中間会計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)	
1株当たり純資産額	438,926円56銭
1株当たり中間純利益金額	44,596円44銭

なお、潜在株式調整後1株当たり中間純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり純資産額の算定上の基礎

中間貸借対照表の純資産の部の合計額	16,810,887千円
純資産の部の合計額から控除する金額	-
普通株式に係る中間会計期間末の純資産額	16,810,887千円
1株当たり純資産額の算定に用いられた中間会計期間末の普通株式の数	38,300株

1株当たり中間純利益金額の算定上の基礎

中間損益計算書上の中間純利益金額	1,708,043千円
普通株主に帰属しない金額	-
普通株式に係る中間純利益金額	1,708,043千円
普通株式の期中平均株式数	38,300株

独立監査人の監査報告書

平成29年6月5日

東京海上アセットマネジメント株式会社

取締役会御中

PwCあらた有限責任監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 荒川 進
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている東京海上アセットマネジメント株式会社の平成28年4月1日から平成29年3月31日までの第32期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について監査を行った。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、東京海上アセットマネジメント株式会社の平成29年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

2. XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

[次へ](#)

独立監査人の中間監査報告書

平成29年12月4日

東京海上アセットマネジメント株式会社

取締役会御中

PwCあらた有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 荒川 進指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 久保 直毅

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている東京海上アセットマネジメント株式会社の平成29年4月1日から平成30年3月31日までの第33期事業年度の中間会計期間（平成29年4月1日から平成29年9月30日まで）に係る中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益計算書、中間株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について中間監査を行った。

中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した中間監査に基づいて、独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準は、当監査法人に中間財務諸表には全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得るために、中間監査に係る監査計画を策定し、これに基づき中間監査を実施することを求めている。

中間監査においては、中間財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するために年度監査と比べて監査手続の一部を省略した中間監査手続が実施される。中間監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要に応じて追加の監査手続が選択及び適用される。中間監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。また、中間監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め中間財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

中間監査意見

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、東京海上アセットマネジメント株式会社の平成29年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する中間会計期間（平成29年4月1日から平成29年9月30日まで）の経営成績に関する有用な情報を表示しているものと認める。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は中間監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

2. XBRLデータは中間監査の対象には含まれていません。

[次へ](#)

独立監査人の中間監査報告書

平成30年3月7日

東京海上アセットマネジメント株式会社
取締役会御中

PwCあらた有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 荒川 進

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 久保 直毅

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている東京海上・世界資産バランスファンド（年1回決算型）の平成29年7月12日から平成30年1月11日までの中間計算期間の中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益及び剰余金計算書並びに中間注記表について中間監査を行った。

中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した中間監査に基づいて、独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準は、当監査法人に中間財務諸表には全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得るために、中間監査に係る監査計画を策定し、これに基づき中間監査を実施することを求めている。

中間監査においては、中間財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するために年度監査と比べて監査手続の一部を省略した中間監査手続が実施される。中間監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要な応じて追加の監査手続が選択及び適用される。中間監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。また、中間監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め中間財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

中間監査意見

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、東京海上・世界資産バランスファンド（年1回決算型）の平成30年1月11日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する中間計算期間（平成29年7月12日から平成30年1月11日まで）の損益の状況に関する有用な情報を表示しているものと認める。

利害関係

東京海上アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

（注）1．上記は中間監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

2．XBRLデータは中間監査の対象には含まれていません。

[前へ](#)